

# インフォメイト

Vol.22  
April  
2019

## 【特集】

### 糖尿病性腎臓病について

### 「かかりつけの歯科医院」はありますか？

### ゴールデンウィークの診療体制について

### 標榜診療科名の変更について

### 第8回ブラックジャックセミナーを開催しました

### 院内ボランティアの紹介

### 公立昭和病院外来のご案内



腎臓は基本的にはろ過装置です。その重さは体重の1%にも満たないものですが、正常な腎臓のろ過量は1分当たり100mlで、1日にすると144Lにもなります。このとんでもない量のろ過を両腎で100万個と推定されている糸球体（左写真）と呼ばれるろ過装置で達成しています。糸球体は毛細血管なのですが、毛細血管としては体のどこよりも高い圧を受けている一方、再生能力はありません。腎臓を悪くする原因の中でも、糖尿病が原因になっている糖尿病性腎臓病はものすごく問題なので紹介しておこうと思います。

日本の糖尿病人口は2016年の調査で1000万人を超えていて、まだ増加傾向にあります。このうち40%位の人は腎臓病を合併してきます。腎機能が低下し始めるに着実に機能低下が進み、数年で末期腎不全に進みます。このため、糖尿病は日本を含めた先進国では透析開始の最多理由となっています。気になっているのは糖尿病発症の低年齢化で、腎臓病を含めた血管合併症を50歳くらいまでに起こしている事例が珍しくなくなりました。腎機能も脾臓のインスリン分泌能も加齢とともに衰えるので、罹病期間が延びると腎臓病が問題になってきてしまいます。糖尿病は血糖値の高いことで診断され、治療目標



「糸球体」

もまず血糖をよくするところに力を入れるのは当然ですが、血管合併症の中でも特に進行期の糖尿病性腎臓病は、血糖がよく管理されているのに進行してしまう経過をとることも少なくありません。そうすると患者さんとしても、どこに注力すれば病気の進行を抑えられるのか分からず困惑してしまうことも多いかと思えます。

難しい問題ですが、やはり食事のとり方、運動習慣、血圧、血糖、高脂血症など短期的に達成しやすい治療目標を1つ1つ達成しながら体重調整に成功し、その状態を半年から1年以上維持できれば経過が安定してくるチャンスはあるのではないかと考えています。

これを血管合併症が進む前にできるだけ早期に達成することです。管理項目が多く、投薬も多くなりがちで薬さえ飲めば大丈夫と考えている人も多いかもしれませんが、薬物療法は治療の一部分に過ぎません。自身で行う食事や運動などの生活習慣修正は、全ステージを通して重要です。

当科には毎週のように進行した糖尿病性腎臓病の方が紹介で来院され、以上のようなことを伝えますが、きちんと響いているのか心配になることがあります。こちらあまり長い時間がかかれずジレンマになっています。患者さんにおいても、問題意識を共有して治療に取り組むことが重要です。かかりつけ医をはじめとした多くの職種からの小さいレベルの継続的支援から、食品業界、行政などの大きなレベルのアクションも、現状を変えていくためには必要ではないかと考えています。



## 糖尿病性腎臓病について

腎臓内科部長 宮川博

## 地域医療連携室だより！

### 北多摩北部病院連携総会が開催されました！

あっという間に、平成最後の年度末を迎えてしまいました。時が過ぎるのは、早いものですね。

平成30年度の締めくくりとして、北多摩北部二次保健医療圏で、各病院が連携して行っている、北多摩北部病院連携協議の総会が、3月14日に「ルネこだいら・レセプションホール」で開催されました。当日は、150人が定員のホールに、160人近い方の参加申込があり、熱気に満ちた会となりました。



「多くの方が集まり、スタートです！」

今年度より、会ではより現場に根ざした下部部会・薬剤耐性問題検討部会、栄養検討部会が立ち上がっており、従来の医療連携職のための実務者連絡会とともに、活動報告をしていただきました。

この圏域での問題点、最新情報などが共有化され、地域における医療の質の向上に貢献するものでした。特別講演では、『医療行政と医師の働き方改革を巡る課題について』と題して、厚生労働省医政局の方に講演をしていただきました。医療機関は、患者さんに対して最善の医療を提供するため、日々、努めているのですが、一方で、医療



「厚労省の方と有意義な議論が行われました」

に耳を傾け、質疑応答も活発に行われていました。総会の後には懇親会が行われ、医療機関同士の親睦が深められていました。

平成という時代の中で、地域の医療は、個々から連携による提供へと変化し、それぞれの医療機関の得意とする機能が、生かされる時代になってきています。



「精神科の病院も参加しています」

この会は、多くの医療関係者が集まり、そのことを着実に実施するための貴重な会となっています。



## 《公立昭和病院の理念と方針》

### 【理念】

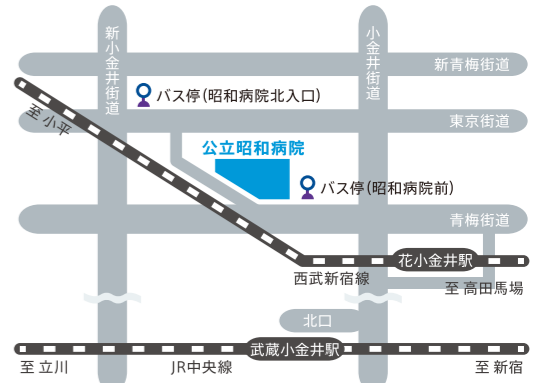
一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します

### 【方針】

- 1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
- 2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
- 3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
- 5 信頼される優れた医療人を育成します
- 6 健全な病院経営に努めます

当院は、東京都多摩地域の小金井市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、東大和市、西東京市の7市で構成されている昭和病院企業団により運営されています。標榜診療科は全31科。休日・夜間救急医療をはじめ、高度・専門医療、予防医学的事業、地域医療センターとして高い機能を発揮して、地域の医療需要と信頼に答えています。

### Access



## 公立昭和病院

〒187-8510 東京都小平市花小金井8-1-1  
tel.042-461-0052 fax.042-464-7912  
<http://www.kouritu-showa.jp/>





## 「かかりつけの歯科医院」はありますか？

口腔ケアセンター 歯科衛生士 小野 亜紀子

当院の口腔ケアセンターでは、主治医・看護師・歯科医師と協働してがん治療に必要な、手術・抗がん剤治療・放射線治療などの治療による副作用に対しての予防策として、お口の汚れを取り除く口腔ケアを実施しております。（実施は全症例ではなく、手術の内容や病気の種類により異なります。）

### ①なぜお口のケアが必要なのか？

お口の中には多くの細菌がいます。普段は悪さをしない細菌も、がん治療を行うことで一時的に全身の抵抗力が弱まったときに、肺炎や重症の口内炎など様々な合併症の原因となることがあります。

しかし、体の治療を始める前にあらかじめお口のケアを行い、良い環境に整えておくこと合併症のリスクを減らすことが

できます。図-1（日本歯科医師会「歯医者さんへ行こう治療前からの口ケアのすすめ」より引用）

### ②お口の環境が整うまでには時間がかかります！

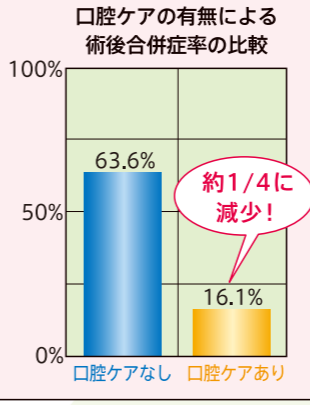
例えば、目で見てわかる大きな虫歯は一般的には何回か通院の必要があります。虫歯だけでなく歯を失う原因の多くに歯周病もあります。

歯周病は日々の歯磨きが重要ですが、お口の中のネバネバした汚れ（プラーク）が石灰化した歯石は歯科医院で除去することになります。一度にお口の全体を綺麗にするのは患者さんに負担がかかるため、何回か通院の必要があります。また歯周病の症状で歯の揺れがあります。手術前に揺れている歯があると、全身麻酔の際にお口を通して人工呼吸器とつながるときに、歯が抜け落ちてしまう危険があるため抜歯をしたほうが良いこともあります。

虫歯・歯周病は一朝一夕には治りません。かかりつけ歯科医院があれば早期にお口の病気を発見し、治療を開始することができ、必要に応じて専門の病院へ紹介が出来ます。また、もし体が何らかの病気になってしまった場合でもお口のことです。そのために「かかりつけ歯科医院」をもちましよう！

## 手術後の合併症が減少する

右の図は、がん患者さんを対象に、手術前にお口のケアを行った方と行わなかった方とを比較した結果、行った方は術後合併症が約1/4に減少したことを示しています。



大田洋二郎 歯界展望(2005). 106(4):766-772を一部改編

図-1



## 第8回ブラック・ジャックセミナーを開催しました

子どもたちが医師や医療スタッフの仕事を実際に体験することで、検査や治療の大切さ、命の尊さを知っていただく「ブラックジャックセミナー」を3月3日（日）に開催しました。第8回の今回は、小金井市・東久留米市・清瀬市の4・5年生（現5・6年生）を対象に募集を行い、多数の応募の中から抽選で33名の児童が参加しました。

終了証



た。さらに、検査技師からMRI装置の詳しい説明を聞いたり、当院施設の見学、医師への質問コーナーで質疑応答を行い、最後は外科・消化器外科部長山口先生から終了証が一人ひとりに手渡されました。



手術縫合体験



エコー体験



内視鏡トレーニング体験



医師への質問コーナー



超音波メス体験



## ゴールデンウィークの診療体制について

2019年のゴールデンウィークは10連休になることから、当院では継続的な医療の提供に支障が生じないように、左図のとおり祝日のうち3日間を開院いたしますので、お知らせいたします。

### 公立昭和病院 ゴールデンウィーク診療日のお知らせ

新天皇即位に伴い、本年ゴールデンウィークは10連休となります。当院は地域の中核病院として、連休中についても必要な医療を滞りなくご提供するため、下記のとおり開院日を設けて、診療をいたしますのでお知らせいたします。

4/27 (土)	4/28 (日)	4/29 (月)	4/30 (火)	5/1 (水)
救急診療	救急診療	救急診療	開院日 通常診療	開院日 通常診療
5/2 (木)	5/3 (金)	5/4 (土)	5/5 (日)	5/6 (月)
開院日 通常診療	救急診療	救急診療	救急診療	救急診療

\*通常診療を行う日は、できるだけ予約受診をお願い致します。  
\*救急診療を行う日は、重症の方を優先して診療します。お電話で状況を確認してから、来院してください。

問い合わせ先  
公立昭和病院 医事課 医事管理係  
042-461-0052(代) 内線 2178



## 標榜診療科名の変更について

2月1日より、「耳鼻いんこう科」は「耳鼻咽喉科」に、3月1日より「神経内科」は「脳神経内科」に、それぞれ診療科名が変更になりましたのでお知らせいたします。

なお、診療科名の変更に伴う診療内容の変更などはありません。患者の皆様には、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

変更日	変更前	変更後
3/1	神経内科	脳神経内科
2/1	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉科



## 院内ボランティアの紹介

昭和病院では左記の3分野においてボランティアさんが活躍されています。

### ①「案内・介助」

- ・主な仕事内容
  - ・病院玄関付近での患者さんの援助
  - ・車いす、歩行困難な患者さんの援助
  - ・病院内への誘導、案内など



①「案内・介助」

### ②「図書」

- ・主な仕事内容
  - ・利用患者さんのカウント
  - ・図書室管理
  - ・患者さんからの簡易な相談を聞き、図書を一緒に探す。



②「図書」

### ③「お花」

- ・主な仕事内容
  - ・病院南側の通路にある鉢植え、プランターの植栽の手入れ、水やり（毎週月曜日、午前10時前後 ※夏は月、水、または、月、水、金で水やりをしています。）



③「お花」

## 公立昭和病院外来のご案内

当院では、高度・急性期医療を担うため、地域の医療機関との医療連携を推進し、機能分担を図っています。当院を初めて受診される場合には、なるべく「かかりつけ医」などの地域の医療機関の医師からの紹介状をご持参ください。また、当院受診後、病状が安定した患者さんは紹介元の医療機関などに、逆紹介しておりますので、ご了承ください。

診療科により、特定の曜日や全ての診療日を「完全予約制」や「完全紹介制」とさせていただきます。スマートフォン・携帯電話をお持ちの方は、受診についての詳細が左記のQRコードからご覧いただけます。



初診の方はこちら



再診の方はこちら



紹介状をお持ちの方はこちら